令和8年度　小平市立小平第四小学校　学校評価計画表

学校教育目標　教育基本法等の諸法規に則り、「他者と豊かにかかわり、知性を働かせ、明日を切り拓く子ども」の育成を図る。 ○健康な子　◎考える子　○やさしい子　○おこなう子

目指す学校像（ビジョン）　『みんなの笑顔が輝く学校』（学ぶことに喜びを感じられる学校、他を思いやり心と心が通い合う学校、励まし合い助け合ってみんなの笑顔が輝く学校）

【目指す学校像】「健康な子：心身ともに健康で、毎日の生活を充実させることができる子」　「考える子：基礎的・基本的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成、主体的・対話的で深い学びができる子」

【目指す児童・生徒像】「やさしい子：自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる子」　「おこなう子：目標をもち、主体的に行動することができる子」

【目指す教員像】「明るく、元気で前向きな教師」「授業実践力等を磨くために、絶えず自己研鑽に励む教師」「児童への愛情を十分に注ぎ、職務を全うできる教師」「同僚、保護者、地域と協働し、児童のために全力を発揮できる教師」

前年度までの学校経営上の成果と課題

（成果）ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業を展開することで、単元全体の指導内容が明確になり、より分かりやすい授業作りに繋げることができた。生活指導の事案に対して、組織的対応が常態化し、複数で多角的に対応することを心がけた。

（課題）学力の定着の二極化傾向が見られる中で、基礎的基本的な学力の定着、既習事項の定期的な振り返りと復習、家庭学習の活用が求められる。

	中期経営目標	***短期経営目標***	***具体的方策***	***取組指標***	***成果指標***
学力向上	児童が課題解決学習や補習を通して身に付けた知識を活用して学習活動を展開し、学力の向上を図る。	基礎学力の確実な向上を図る。	東京ベーシックドリルの活用や読書に親しむ習慣を身に付けさせる取組、週1回の補習、家庭学習等を通して個の状況に応じた学習指導の工夫に取り組み、基礎学力の向上を図る。	4 具体的な手立てで取り組む教師の割合9割以上 3 具体的な手立てで取り組む教師の割合8割以上 2 具体的な手立てで取り組む教師の割合7割以上 1 具体的な手立てで取り組む教師の割合7割未満	4 保護者・地域アンケートで、「児童はできている」と回答した割合が9割以上 3 保護者・地域アンケートで、「児童はできている」と回答した割合が8割以上 2 保護者・地域アンケートで、「児童はできている」と回答した割合が7割以上 1 保護者・地域アンケートで、「児童はできている」と回答した割合が7割未満
		様々な機会を活用して、教員の授業力（課題解決型の指導）の向上を図る。	校内研究では研究主題を【児童が「学びたい」と思える授業つくり】とし、①自分で学び方を選ぶ②自分の学びを振り返るの2点を研究の視点として共通実践を重ね、次の学びに生かそうとする「態度を育てる。	4 校外の研修・研究会に1回以上参加した教員の割合が9割以上 3 校外の研修・研究会に1回以上参加した教員の割合が8割以上 2 校外の研修・研究会に1回以上参加した教員の割合が7割以上 1 校外の研修・研究会に1回以上参加した教員の割合が7割未満	4 保護者・地域アンケートで「児童の実態に合わせて工夫した授業をしている」と回答した割合が9割以上 3 保護者・地域アンケートで「児童の実態に合わせて工夫した授業をしている」と回答した割合が8割以上 2 保護者・地域アンケートで「児童の実態に合わせて工夫した授業をしている」と回答した割合が7割以上 1 保護者・地域アンケートで「児童の実態に合わせて工夫した授業をしている」と回答した割合が7割未満
健全育成	児童一人一人の規範意識を高め、思いやりの気持ちを豊かにし、全児童が安心して学校生活が送れるようにする。	「共通指導」を展開し、きまりや目標を意識して行動できるようにする。	「四小スタンダード」や「月目標」についての振り返りを行い、具体的な取組を提示しながら主体的な取組を促す。	4 具体的な手立てで取り組む教師の割合9割以上 3 具体的な手立てで取り組む教師の割合8割以上 2 具体的な手立てで取り組む教師の割合7割以上 1 具体的な手立てで取り組む教師の割合7割未満	4 保護者・地域アンケートで、「児童はできている」と回答した割合が9割以上 3 保護者・地域アンケートで、「児童はできている」と回答した割合が8割以上 2 保護者・地域アンケートで、「児童はできている」と回答した割合が7割以上 1 保護者・地域アンケートで、「児童はできている」と回答した割合が7割未満
		いじめの未然防止、早期発見、早期対応を徹底する。	全教職員でいじめ防止基本方針を理解し、「いじめ見逃しO」を重視する。いじめ防止授業及び計画的ないじめ調査を実施して実態を把握する。生活指導夕会で関係職員も含めた共通理解を図り、指導に生かす。	4 いじめ調査における未解決件数が0件 3 いじめ調査における未解決件数が2件以内 2 いじめ調査における未解決件数が4件以内 1 いじめ調査における未解決件数が5件以上	4 児童の自己評価で、学校生活の満足度が9割以上 3 児童の自己評価で、学校生活の満足度が8割以上 2 児童の自己評価で、学校生活の満足度が7割以上 1 児童の自己評価で、学校生活の満足度が7割未満
健康の保持増進・体力向上	児童の体力・運動能力の向上を図るとともに、健康や安全への意識を高める。	児童が主体的に運動に取り組み、体を動かす心地よさを感じられるようにする。	目標値を設定して体力テストに取り組む。「縄跳び」や「持久走」等の業間運動、月曜朝遊び体育的活動を通して運動に親しませ、運動の日常化を図る。	4 体力向上に向けた取組の実施率80%以上の教員の割合が9割以上 3 体力向上に向けた取組の実施率80%以上の教員の割合が8割以上 2 体力向上に向けた取組の実施率80%以上の教員の割合が7割以上 1 体力向上に向けた取組の実施率80%以上の教員の割合が7割以下	4 児童の自己評価で、「運動できている」と回答した割合が9割以上 3 児童の自己評価で、「運動できている」と回答した割合が8割以上 2 児童の自己評価で、「運動できている」と回答した割合が7割以上 1 児童の自己評価で、「運動できている」と回答した割合が7割未満
		児童が自己の生活習慣を見直し、改善できるようにする。	保健の授業や保健便り、SCや養護教諭の講話、生活リズム週間の取組等を活用して、自己の健康について振り返り、生活の中で具体的に生かす習慣を身に付けさせる。	4 基本的生活習慣に係る指導を年間6回以上実施している教員の割合が9割以上 3 基本的生活習慣に係る指導を年間6回以上実施している教員の割合が8割以上 2 基本的生活習慣に係る指導を年間6回以上実施している教員の割合が7割以上 1 基本的生活習慣に係る指導を年間6回以上実施している教員の割合が7割未満	4 保護者・地域アンケートで、体力向上への取組満足度が9割以上 3 保護者・地域アンケートで、体力向上への取組満足度が8割以上 2 保護者・地域アンケートで、体力向上への取組満足度が7割以上 1 保護者・地域アンケートで、体力向上への取組満足度が7割未満
地域連携教育の推進	地域・家庭・学校とが連携し、創造的な教育活動を展開しながら子どもを協働的に育てる。	地域の教育力を学校教育に生かし、児童の学力向上や健全育成の充実を図る。	地域教育コーディネーターと連携し、ゲストティーチャーや地域教育ボランティアを意図的・計画的に活用し、教育活動をより豊かなものにする。	4 児童の学習支援の具体的活動を年間3回以上実施 3 児童の学習支援の具体的活動を年間2回程度実施 2 児童の学習支援の具体的活動を年間1回程度実施 1 児童の学習支援の具体的活動の未実施	4 保護者・地域アンケートで、学力向上に向けた地域の取組の満足度が9割以上 3 保護者・地域アンケートで、学力向上に向けた地域の取組の満足度が8割以上 2 保護者・地域アンケートで、学力向上に向けた地域の取組の満足度が7割以上 1 保護者・地域アンケートで、学力向上に向けた地域の取組の満足度が7割未満
			学校支援チーム（ナラミースタッフ・学童農園）との連携教育活動を通して、体験的な学習や本物に触れる機会を充実させ、児童の興味・関心を高め、知識の習得を図る。	4 児童の学習支援の具体的活動を年間3回以上実施 3 児童の学習支援の具体的活動を年間2回程度実施 2 児童の学習支援の具体的活動を年間1回程度実施 1 児童の学習支援の具体的活動の未実施	4 児童の自己評価で、地域と連携した学習の満足度が9割以上 3 児童の自己評価で、地域と連携した学習の満足度が8割以上 2 児童の自己評価で、地域と連携した学習の満足度が7割以上 1 児童の自己評価で、地域と連携した学習の満足度が7割未満
教職員の働き方	業務改善・担当する業務について「無くす」「減らす」「変える」の3つの視点で改善し、教職員の働き方を見直す。	ペーパーレス会議を推進し、会議時間を短くして教材研究の時間をつくり、業務の効率化を図る。	提案文書配布や共有すべき連絡事項はデジタルを含めた様々な方法で情報共有し、会議時間と勤務時間の短縮し、業務の改善を図る。（無くす・減らす）	4 実施率9割以上 3 実施率8割以上9割未満 2 実施率5割以上8割未満 1 実施率5割未満	4 業務改善できたと感じた教師の割合9割以上 3 業務改善できたと感じた教師の割合8割以上9割未満 2 業務改善できたと感じた教師の割合5割以上8割未満 1 業務改善できたと感じた教師の割合5割未満
		勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。	SSSを活用したり、業務の見直しや校務分掌を精査したりする。教科担任制や交換授業を取り入れる等で、業務改善を図る。（変える）	4 実施率9割以上 3 実施率8割以上9割未満 2 実施率5割以上8割未満 1 実施率5割未満	4 SSSの活用等が業務改善につながったと感じる教師の割合9割以上 3 SSSの活用等が業務改善につながったと感じる教師の割合8割以上9割未満 2 SSSの活用等が業務改善につながったと感じる教師の割合7割以上8割未満 1 SSSの活用等が業務改善につながったと感じる教師の割合7割未満